

# 平成30年度 教育委員会の事務 に関する点検評価報告書



令和元年11月  
海津市教育委員会

目次	
1 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）	
(4) 点検・評価結果の構成	
2 教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 会議の開催	
(2) その他の活動状況	
①教育委員の研修状況	
②教育委員の学校訪問等	
③総合教育会議への出席	
④教育委員の関係行事等への出席	
⑤広報活動	
3 「海津市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価	・ ・ ・ ・ ・ 7
(1) 海津市の教育理念	
(2) 計画の体系	
(3) 施策別評価	
4 外部評価（学識経験者による意見）	・ ・ ・ ・ ・ 39

# 1 はじめに

## (1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律<sup>※1</sup>（昭和31年6月30日法律第162号）」が改正され、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することとされました。

このことから、海津市教育委員会は効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、平成20年度から学識経験者の知見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しています。

## (2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、海津市教育振興基本計画に掲げられた「基本施策」とし、それぞれの点検・評価は、事業の行程管理の把握と進捗状況を踏まえて行っています。

## (3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）

点検・評価は、平成30年度に実施した事業の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の課題と対応の方向性を示すことと致しました。

### ※評価の目安

- A…計画どおり又は計画以上の成果を得た
- B…概ね目標を達成できた
- C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から意見、助言をいただきました。

## (4) 点検・評価結果の構成

### ア. 基本目標

海津市教育振興基本計画に掲げる基本目標です。

### イ. 施策

海津市教育振興基本計画の基本目標に掲げ、重点的に取り組む施策です。

### ウ. 基本施策〔事業内容、実績、対象者等〕

各施策に掲げられた具体的な取り組み事項を示しています。

### エ. 成果課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果及び課題等を示しています。

### オ. 内部評価

計画目標に対し取り組みの進捗状況などを踏まえA～Cの3段階評価を行っています。

### カ. 担当課

事業を実施した担当課等です。

※1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）  
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



## 2 教育委員会の活動状況

平成30年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」と「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

### (1) 会議の開催

教育委員会会議は、原則として毎月1回の予定で開催することとして、平成30年度の開催は16回、付議された議案は合計87に上りました。

以下、平成30年度の開催状況の詳細を報告します。

#### ○平成30年度教育委員会会議の開催状況

回数	期 日	案 件
第1回	平成30年 4月 5日 (木)	3件
第2回	平成30年 4月20日 (金)	1件
第3回	平成30年 5月16日 (水)	14件
第4回	平成30年 6月19日 (火)	4件
第5回	平成30年 7月13日 (金)	1件
第6回	平成30年 8月 7日 (火)	4件
第7回	平成30年 9月12日 (水)	8件
第8回	平成30年10月 5日 (金)	10件
第9回	平成30年10月15日 (月)	1件
第10回	平成30年10月16日 (火)	1件
第11回	平成30年11月16日 (金)	5件
第12回	平成30年12月12日 (水)	5件
第13回	平成31年 1月17日 (木)	7件
第14回	平成31年 2月19日 (火)	11件
第15回	平成31年 3月 7日 (木)	4件
第16回	平成31年 3月26日 (火)	8件
合 計		87件

#### ア 議案について

教育委員会の権限に属する事務の執行は、「海津市教育委員会教育長事務委任規則第2条※<sup>2</sup>」に掲げるものを除き、その権限を教育長に委任すると定められていますが、一方で、同規則第3条は委任された事務についても重要かつ異例の事態が生じたときは教育委員会の決定に委ねるとしており、実際には重要事項の多くは教育委員会の会議の場で決定され、平成30年度に付議された議案は全て会議規則に従い適切に処理されました。

また、議事の終了後には事務局各課から事業の実績、進捗状況及び計画等について報告又は説明を行い、今日的な教育課題への対応等、共通の認識を持ちつつ理解を深めることと致しました。

※2) 海津市教育委員会教育長事務委任規則 (抜粋)

(事務委任)

第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件1,000万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の任免その他の人事に関すること。
- (8) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の懲戒に関すること。
- (9) 1件1,000万円以上の工事の計画を策定すること。
- (10) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (11) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を市長に申し出ること。
- (12) 法律若しくは、これに基づく政令又は条例に基づき置かれている附属機関の委員又は委員を委嘱すること。
- (13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (14) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (15) 公文書の公開の決定に関すること。
- (16) 個人情報の開示、請求及び削除の決定に関すること。
- (17) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による点検及び評価に関すること。

イ 議事について

簡易な事務手続き等の案件を除き、条例や規則の改正或いは事業計画の承認等、重要事項の審議は、問題意識を共有して事業効果の高い結果が得られるよう、事務局に詳細な説明を求め、活発な議論が展開されました。

また、事務局は、資料の提示や詳細な説明等、より多くの情報提供に努め、メリハリのある会議の運営に努めました。

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも研修や学校訪問等の実施或いは関連する教育団体との懇談などに参加しました。

①教育委員の研修状況

事業名	期 日	場 所	内 容
市内視察研修	平成30年11月16日(金)	木曾三川公園センター 「展望ター」・長良川サービスセンター・水郷パークセンター内「堀田」・歴史民俗資料館	国営木曾三川公園の中央水郷地区の施設等を視察
市外視察研修	平成31年 1月30日(水)	彦根城・彦根城博物館・関ヶ原町歴史民俗資料館	歴史的に意義のある社会教育施設を視察

②教育委員の学校等訪問

教育委員会会議の開催に合わせて、平成30年度においては市内の小・中学校等を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校の良さや、抱えている課題などを把握することに努めました。

期 日	午 前	午 後
平成30年 5月23日(水)	吉里小学校	
平成30年 5月24日(木)	東江小学校	
平成30年 5月31日(木)	下多度小学校	
平成30年 6月 4日(月)	今尾小学校	
平成30年 6月12日(火)	高須認定こども園	
平成30年 6月14日(木)	西江小学校	
平成30年 6月21日(木)	高須小学校	
平成30年 9月19日(水)	今尾認定こども園	
平成30年 9月21日(金)	城南中学校	
平成30年 9月26日(水)	平田中学校	
平成30年10月 4日(木)	海西小学校	
平成30年10月10日(水)	石津認定こども園	
平成30年10月24日(水)	城山小学校	
平成30年11月 6日(火)	日新中学校研究発表会及び公表会	
平成30年11月14日(水)	石津小学校研究発表会	
平成30年11月28日(水)	大江小学校研究発表会	

### ③総合教育会議への出席

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から「海津市総合教育会議」を設置しました。会議は市長と教育委員会で構成され、互いが十分な意思疎通を図り教育課題を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するために市長が招集するもので、以下のとおり開催され出席しました。

回数	期 日	場 所	案 件
第1回	平成30年 8月 7日(火)	海津総合福祉会館 「ひまわり」	3件
第2回	平成31年 2月19日(火)	海津市役所 東館 4-2会議室	2件
第3回	平成31年 3月 7日(木)	海津市役所 東館 3-1会議室	1件

### ④教育委員の関係行事等への出席

期 日	主要行事等	場 所	
4月	5日(木)	小中学校教職員「着任式」	文化センター
	6日(金)	小中学校「入学式」	各小中学校
	9日(月)	認定こども園「入園式」	各認定こども園
6月	1日(金)	スポーツフェスタ	平田中学校
	2日(土)	運動会	高須小学校
9月	13日(木)	体育大会	日新中学校
	19日(水)	体育大会	城南中学校
	16日(日)	運動会	吉里・東江・大江・西江・城山・下多度小学校
	22日(土)	運動会	石津・今尾・海西小学校
10月	26日(金)	市小中学校「音楽会」	文化センター
1月	25日(金)	教育研究大会	文化センター
3月	5日(火)	卒業式	各中学校
	25日(月)	卒業式	各小学校
	26日(火)	小中学校教職員「離任式」 認定こども園「卒園式」	海津総合福祉会館「ひまわり」 各認定こども園

### ⑤広報活動

定期的を開催する教育委員会会議をはじめとして、その主な活動は、海津市ホームページで公開しました。

今後もより一層、市民の皆様のご理解とご協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアの活用方法を工夫する必要があると考えています。



### 3 「海津市教育振興基本計画」に基づく事業の行程管理及び執行状況の評価

海津市教育委員会では、本市の教育行政について「どのようにしたいか。」また、「そのために何をすればよいか。」とその姿勢と政策の方向を明らかにし、より良い教育環境づくりを推進するために、毎年、リーフレット「海津市の教育」を作成してきました。さらに、平成26年3月にはその集大成といえる「海津市教育振興基本計画」を策定しました。

この報告書は、「海津市教育振興基本計画」の3つの基本的視点、6つの基本目標からなる重点施策ごとに点検・評価を行い、その取り組み状況や教育委員の意見を取りまとめたものです。

#### (1) 海津市の教育理念

**【基本理念】**

「いのち」をつなぐ教育

愛情と思いやりに溢れた一人一人の生命が  
つながり生きる喜びを感じる教育

基本目標	施 策	基 本 施 策
良好な学校教育環境の整備・充実	就学前教育の充実	①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進
		②幼保小の連携強化
		③認定こども園、幼稚園、保育園の適正規模の推進
		④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ
		⑤多様な保育サービスの提供
	学校教育の充実	①軸を明確にした学校経営の構造化
		②確かな学力を身につけさせ「生きる力」を育む指導の充実
		③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実
		④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実
		⑤学習意欲を高める指導や取組の充実
		⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫
		⑦特別支援教育に関わる教職員の研修
		⑧キャリア教育の推進
		⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進
	教育設備の充実	①学校施設の大規模改修の推進
②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進		
③エアコンの計画的整備		

	豊かな心の育成	①道徳教育の充実
		②多様な体験活動の推進
		③人権同和教育の充実
	教職員の資質の向上	①「海津市教育スタンダード」の構築
		②教職員研修の充実
		③研究授業や公開授業、交流授業等の促進
		④核となる人材育成の推進
	学校給食の充実及び食育の推進	①地域全体で取り組む食育の推進
		②学校給食の充実
		③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底
		④効率的な運用
	中学校の適正配置	①南濃町地内中学校適正配置の推進
②統合中学校校舎の整備		
生涯学習環境の整備・充実	生涯学習環境の充実	①学習ニーズの把握
		②学習環境の整備
		③学習情報の整備
		④地域住民が集う場の提供
		⑤施設環境の整備
	多様な学習機会の提供	①生涯学習活動と指導者の育成
		②生涯学習情報の共有
		③生涯学習の意識啓発
		④図書館や資料館等の学習機関の充実
新たな学習活動への支援	①高齢者の持つ技能の伝承	
	②学習活動を支援する人材の活用	
	③学習情報の提供方法の工夫	
青少年の健全育成	地域で進める青少年の健全育成	①「こども健全育成指針」の推進
		②組織的な活動の充実
		③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上
	家庭教育力の向上	①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進
		②子育て学習の提供と相談体制の充実
		③家庭教育学級の工夫・改善と充実
文化の振興	文化の継承と発展	①指定文化財の保存・保護、後継者の育成
		②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究
		③文化資源の活用
	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	①文化財の情報発信と周知
		②自然・歴史資源の発見と活用

	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	①市民文化活動への支援 ②文化や芸術に親しむ心を育む ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ④多様な芸術活動の支援	
スポーツ活動の振興	スポーツ施設の整備と有効活用	①スポーツ施設の計画的な改修 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ③スポーツ施設の利用促進	
		スポーツ活動の充実	①スポーツ少年団の育成 ②市民参加型スポーツ活動の推進 ③高齢者や障害者スポーツ活動の推進 ④総合型地域スポーツクラブの支援
			競技スポーツ活動の支援
	地域間交流の推進		



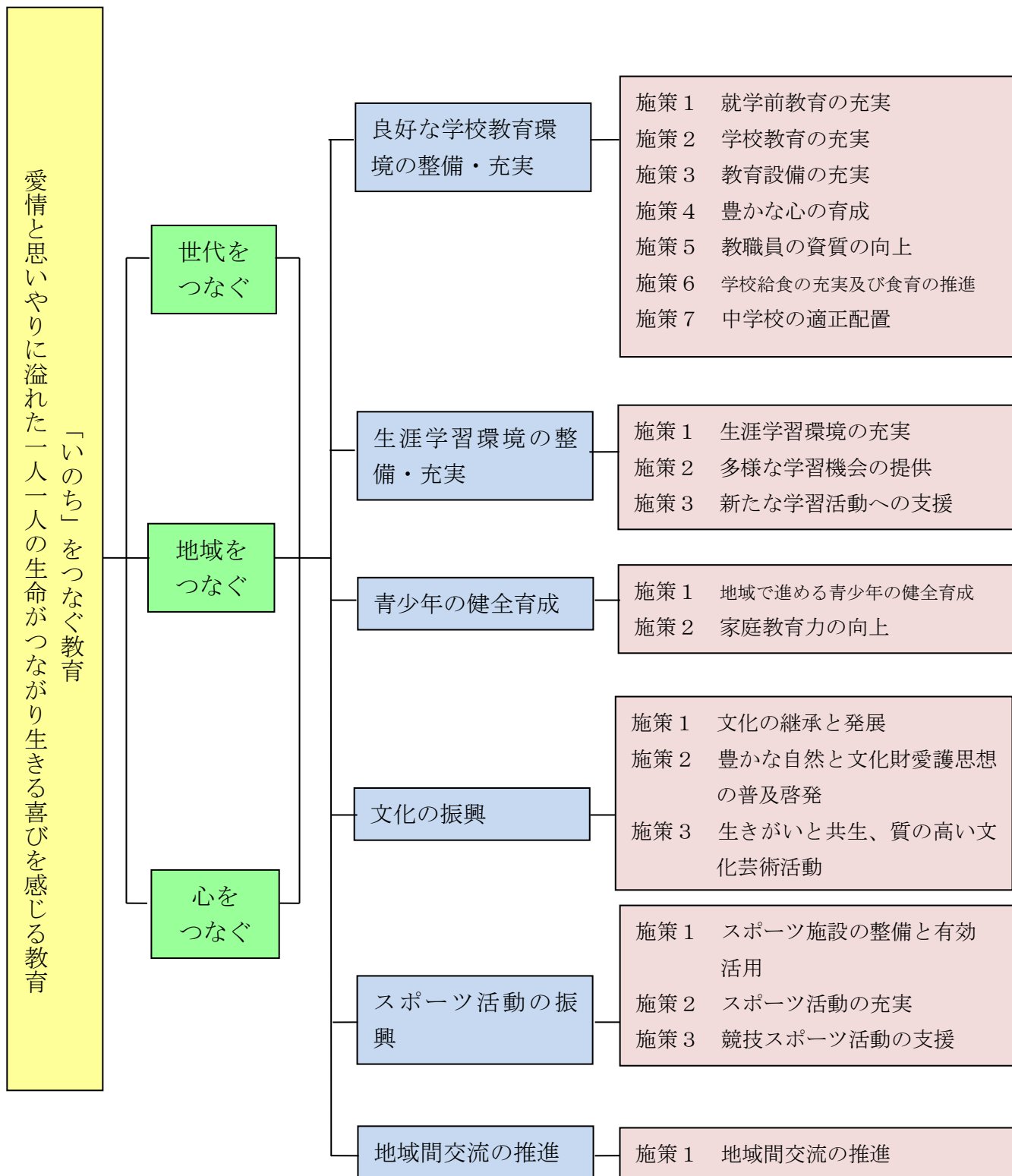
(2) 計画の体系

【基本理念】

【基本的視点】

【基本目標】

【施策】



(3) 施策別評価

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	就学前教育の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもがのびのびと活動できる環境づくりや指導を行った。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼保小連絡協議会等のほか、各園ともに小学校との交流活動を実施した。</p> <p>③認定こども園、幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・「海津市公立保育所等民営化・統廃合計画」に基づき、H30.4.1に2保育園を民営化し、1幼稚園を廃園した。</p> <p>④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ ・各園で幼児教育・保育の一環として本の読み聞かせを行った。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・子ども・子育てに関する事業を計画的に推進した。</p>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・一人一人の発達に応じた環境整備と幼児期にふさわしい基本的な生活習慣、規範意識、道徳性が身につくよう指導を行い、幼児教育の提供に努めた。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼保小連絡協議会の開催のほか、幼児教育保育研究会を5回開催して、アプローチカリキュラムに沿ってH30年度は「学びの力を育む教育・保育」に取り組み、「幼児期における学びが小学校教育とどのようにつながっていくかの具体的実践例」を作成し幼保小の連携に努めた。また、各園では、さつまいもの収穫や運動会への参加など小学校との交流を深めた。</p> <p>③認定こども園、幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・市立保育園2園の民営化、市立幼稚園の廃園の議決を受け、H30.4.1に予定どおり民営化及び廃園を行うことができた。</p> <p>④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ ・発達段階にあった読み聞かせを行い、幼児期からの本への親しみや読書習慣を身につけさせることができた。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・辛亥子育て支援センターを高須小学校南舎に移転し、「子育て支援センターかいづ」として毎日実施し、延べ3,506人の親子が利用した。また、2園の民営化により、子育て支援センターが市内10ヶ所に開設され、一時預かり保育等と合わせて子育て支援の機能が拡充した。 ・また、「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定に向け、子育て中の保護者にアンケート調査を実施した。</p> <p>【課題】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもたちを主体に考え、質の高い教育・保育を推進していくため、更なる保育士等の資質向上を図る必要がある。</p>

	<p>②幼保小の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育から小学校教育への円滑な移行に向け、引き続き園と小学校の交流を深める必要がある。</li> </ul> <p>③認定こども園、幼稚園、保育園等の適正規模の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の少子化の動向を踏まえ、今後も民営化・統廃合について、適正な規模・必要性を検討していく。</li> </ul> <p>⑤多様な保育サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに、令和2年度から5年間の「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援サービスを整備していく必要がある。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	こども課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	学校教育の充実
<p>基本施策</p> <p>〔事業内容 実績 対象者等〕</p>	<p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校にて学校経営全体構想を作成し、校長より説明し、全職員の共通理解を図った。</li> </ul> <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校にて研修計画を作成。主題設定及び具体的計画をもとに、学年部会、教科部会等で共通理解、共通実践を図った。</li> </ul> <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生）の結果を分析した。</li> <li>・算数、数学においては、少人数指導及びT. T（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導を図った。</li> <li>・小学校では、専門的な指導の充実を図るため学校の実態に応じて教科担任制を導入した。（社会、理科、算数、音楽、図工等）</li> </ul> <p>④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT（外国語指導助手）を配置して、英語や外国語活動における児童生徒のコミュニケーション能力の向上に努めた。</li> <li>・朝読書の時間の確保や学校図書館の積極的な活用などを行い、西濃地区学校図書館教育賞に応募した。</li> </ul> <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習や体験活動の機会を増やし、児童生徒の学習に対する興味・関心が高まるように努めた。</li> <li>・日新中学校、平田中学校にタブレットを各14台導入した。</li> </ul> <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各課、発達支援センターや幼保、学校等が密接な連携を図り、一人一人の実態及び教育的ニーズをしっかりと把握した。</li> </ul> <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校にて、特別支援教育コーディネーター等を中心に、計画的に特別支援教育に関する研修を実施した。</li> </ul> <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・85の市内事業所にて、中学2年生299人が職場体験学習を行った。</li> </ul> <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化や伝統文化を学ぶ機会として狂言や万歳に取り組んだ。</li> <li>・各校版の防災ノートを配布し、活用した。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の学校経営方針がより明確になり、教職員が共通理解して取り組んでいることが、児童生徒のめざす姿につながっていた。</li> </ul> <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、学校ごとに指導のポイントを絞り授業改善等に取り組むことができた。</li> </ul> <p>④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西濃地区学校図書館教育賞では、海西小学校・城山小学校の優秀賞をはじめ4つの学校が入賞することができた。</li> </ul>

	<p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを用いた学習により、児童生徒が意見を積極的に交流する姿につながった。</li> </ul> <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援センターや関係諸機関との連携により、一人一人の実態に応じた指導をより丁寧に行い、児童生徒が安心して学習に臨むことができた。</li> </ul> <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入事業所や地域におけるキャリア教育への理解が年々深まってきており、生徒を教育的に認め励ましてもらえるようになっている。</li> <li>・生徒も学校とは違う環境で新たな自分の良さに気づき、働くことの価値ややりがいを味わうなどして、その後の学校生活にも変化が見られるようになった。</li> </ul> <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土学習のための手引きを資料として活用した生活科や理科の授業が行われ、郷土への愛着心を育むことができた。</li> <li>・大江小学校が狂言（失せうろこ）、東江小学校が立野万歳、海西小学校が狂言（狐鬼灯）に取り組んだ。</li> <li>・各校版の防災ノートを活用し、災害に適切に対応する能力を身に付けられるように段階的な指導ができた。火災や地震だけでなくライフジャケットを着用して泳ぐなど大雨洪水を想定した訓練にも取り組むことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が教材研究を丁寧に行い、児童生徒、教師にとって楽しい授業をつくっていくことが何よりも大切である。そのための時間の確保や見届けを充実させる必要がある。</li> </ul> <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT環境を整備したり、運用の仕方を研修したりするなどして、教職員や児童生徒が教科の内容等に応じて、さらに適切に活用できるようにしていきたい。</li> </ul> <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市費の支援員等と担任との連携を図り、指導法の工夫改善のためのニーズに応じた教員研修を充実していきたい。</li> </ul> <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援の手引きを活用して組織で対応できる学校体制作りが必要である。特別な支援はそれが必要な児童生徒だけでなく、その他の児童生徒にとっても有効であるとする考え方を大切にしたい。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課	



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	教育設備の充実	
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①学校施設の大規模改修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東江小学校北舎、海西小学校体育館の屋上防水改修工事を実施した。</li> </ul> <p>②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城山小学校多目的教室棟のトイレ改修工事を実施した。</li> </ul> <p>③エアコンの計画的整備</p> <p>（・H29年度までに、市内小中学校の普通教室及びエアコンが必要な特別教室へのエアコン設置が完了した。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海西・大江小学校及び平田中学校のエアコンの修繕を実施した。</li> </ul>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①学校施設の大規模改修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東江小学校北舎、海西小学校体育館の屋上防水シートが、9月の台風により破損したが、改修するにあたり、従来のシート防水工法から耐久性に優れたFRP工法を採用したことにより機能を向上することができた。</li> </ul> <p>②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城山小学校の通級指導教室として使用している多目的教室棟のトイレを洋式化に改修し、教育環境を改善することができた。</li> </ul> <p>③エアコンの計画的整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合が発生した空調設備を修繕し、教育環境を維持した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①学校施設の大規模改修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、計画的に小中学校の大規模改修を行っていく必要がある。</li> <li>・学校の適正規模等及び適正配置の検討状況に併せ、大規模改修を行う必要がある。</li> <li>・国庫補助の要件とされる予定の建築基準法第12条による点検と個別施設計画を策定する必要がある。</li> </ul> <p>②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の充実を図るため、計画的にトイレの洋式化を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>③エアコンの計画的整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の空調設備についてはすべての学校で平成29年度までに設置が完了した。今後は、国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、校舎の大規模改修工事と併せてエアコンの改修工事をする必要がある。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	教育総務課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	豊かな心の育成	
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧南濃町の4校の道徳教育計画訪問が行われた。</li> </ul> <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の実態に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動など教育活動全体を通じて、自然体験、社会体験、ボランティア体験、異学年や高齢者との交流活動などの体験的・実践的活動を推進した。</li> </ul> <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重と人間平等の基本理念を確立するとともに、日常生活に潜在する差別や偏見の解消に努めた。</li> </ul>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が仲間と関わり合いながら価値について議論することを通して価値についての理解を深めたり、自己を見つめたりする活動を大切にした実践が見られた。</li> </ul> <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学校もできる限りの体験的な活動を位置付け、児童生徒が主体的に取り組めるように指導できた。</li> </ul> <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校では、挨拶運動や友達への感謝の思いを伝え合う活動、よさを認め合う活動等を通して自己有用感を高め、意図的・計画的に人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを進めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態把握を大切にし、道徳の時間のねらいをさらに明確にしていく必要がある。</li> <li>・中学校「特別の教科 道徳」の導入に伴い、「考え議論する道徳」の一層の充実と、具体的な指導計画を立案する必要がある。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	教職員の資質の向上	
基本施策  事業内容 実績 対象者等	<p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が学校スタンダードを紙面で明示し、教育委員会学校訪問等の機会を通して、教職員間での共通理解を深めた。</li> </ul> <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海津市教育研究所を核として、教職員の経験や時代の変化に応じた研修を行った（情報モラル、特別支援教育、人権同和教育など）。</li> </ul> <p>③研究授業や公開授業、交流授業等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学説明会を市内同時開催し、小・中の連携を図った。</li> <li>・各校の公開授業を毎月一覧表にまとめたものを作成し、他校の研究会への参加を働きかけた。</li> </ul> <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手人材養成研修、中堅幹部研修を年4回ずつ開催し、各学校のリーダーとして必要な資質について研修した。</li> </ul>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校のスタンダードを基にした『〇〇学校の授業はこれだ!!』を作成し、目指す授業の共通理解を図ったことで、若手・ベテランにかかわらず教職員による指導の統一感を学校訪問等にうかがえた。</li> <li>・各学校で作成された「学校スタンダード『〇〇学校の授業はこれだ!!』」の交流を教務主任会等で行い、各校の実践状況が把握できた。</li> </ul> <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年同じ研修会とならないよう、講師の選定や内容について吟味することができた。</li> </ul> <p>③ 研究授業や公開授業、交流授業等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧表を活用し、他校の研究会に積極的に参加する教職員が増えた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員としての魅力や資質能力を高める研修の充実を図るとともに、学校等のニーズに応じた研修を実施する必要がある。</li> <li>・勤務時間の適正化を踏まえ、学校の課題や時間的ニーズに応じた研修を充実させる必要がある。</li> </ul> <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画配置による若手教員の増加に伴い、3年以内で転出する教員が多い。また、30代前半までの教員と50代の教員が多いことから、将来を見据えた地域の教員の育成が急務である。</li> <li>・勤務の適正化に取り組むことで、より児童生徒に向き合う時間を確保する必要がある。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課、教育研究所	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	学校給食の充実及び食育の推進
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消を図るための献立を積極的に取り入れた。</li> <li>・生産者やJAにしみのと連携した食育活動を行った。</li> <li>・保護者や地域への情報発信、啓発活動を行った。</li> <li>・生産者と子どもたちをつなぐ、「ふれあい給食会」を実施した。</li> <li>・「食育でつなぐ、海津の子どもたち」の研究会を、こども課と連携し実施した。</li> <li>・献立表に使用食材や調味料、栄養価、アレルギーを明記し、情報量を多くした。</li> </ul> <p>②学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業の食材を活用した料理や和食（日本食）を多く取り入れ、また、リクエストメニューや、生徒考案によるメニューの取り入れを実施した。</li> <li>・献立打合せ会の充実を図った。</li> </ul> <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者と連携した衛生管理と事故防止の徹底に努めた。</li> </ul> <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行った。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内農産物（きゅうり、トマト、なす、南濃みかんなど）や、それらを使った加工品などを定期的に給食献立に取り入れ、給食の時間や学級活動、教科や総合的な学習の時間に教材として指導できた。また、保護者対象の給食試食会などを実施し、情報発信や啓発に努めることができた。</li> <li>・栄養教諭が、給食主任や学級担任と連携を図り、給食の時間や学級活動、教科の時間に食に関する指導の推進をすることができた。</li> </ul> <p>②学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・献立の打合せ等十分に検討を行い、地産地消を進める「食育の日」献立（毎月19日）のほかに、「海津の食材の日」献立（毎月1日）を定め実施した。また、日本各地の郷土料理、外国料理、防災や復興支援、健康増進など時代の要請に即した献立も実施し、「給食がおいしい。毎日が楽しみ。」といった声も多く聞かれ、食事内容の充実を図ることができた。児童生徒の残食率は、給食センター開設から10年経過したが、当時から比べると、小学校は、平均8%から平均2.3%に減少、中学校は、平均3%から平均0.8%に減少している。</li> </ul> <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の調理にあたり、食中毒やノロウイルス等を予防するために設備の適正管理に努め、安心安全な給食を提供することができた。</li> <li>・委託業者の衛生管理は、作業前の個人衛生チェック、朝礼・昼礼・終礼での連絡、報告、反省会など、日常的に指導や注意喚起がなされている。また、月1回の衛生教育と同時にテストの実施、年2回の安全担当責任者(ATS)による衛生教育も行われており、事故防止の徹底に努めることができた。</li> </ul> <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者では、電気・ガス・水道水等の適正な使用とその削減をQC（クオリティ・コントロール、品質管理）活動に位置づけ、周知徹底されており、光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行うことができた。</li> <li>・社会情勢による食材価格の変動に伴い、献立の見直し等を行うなど、効率的かつ適正な給食運用を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①地域全体で取組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産物(海津市産物を含む県内産物)の活用を積極的に行っているが、国が掲げる目標値の30%に対し、23%程となっている。JAにしみのや、納入業者とのより一層の連携を図り、地産地消を推進していく必要がある。</li> <li>・学校や家庭、地域社会と連携・協働を図りながら、食育の推進を充実させていく必要がある。</li> </ul> <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な給食の提供にあたり、市と委託業者との連携を密にし運用を行い、機械等の整備・点検に努める必要がある。</li> </ul> <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市と委託業者と連携を密にし、安心・安全で、よりおいしい給食を提供するための工夫や改善、従業員の調理技術の向上を働きかける必要がある。</li> <li>・異物の混入に対し、納入業者・製造業者への指導等強化に努める必要がある。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校給食センター	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	中学校の適正配置	
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①南濃町地内中学校適正配置の推進 (・平成28年4月1日、南濃中学校と城南中学校を統合した。)</p> <p>・旧南濃中学校跡地について、「南濃中学校跡地利用候補者選定委員会」にて跡地利用優先交渉相手を決定した。契約に向けて協議したが相手側から辞退届が提出され契約に至らなかった。</p> <p>②統合中学校舎の整備 (・平成28年度に統合中学校舎の整備は完了)</p>	
成果課題等	<p>【成果】 —</p> <p>【課題】</p> <p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <p>・旧南濃中学校跡地は、平成30年3月6日に「普通財産」として総務部へ引き継ぎしている。今後は、市において跡地について検討していく必要がある。また、国庫補助を受けて学校施設を整備していることから、補助対象施設の経済的価値が残存するとみなされる期間(処分制限期間)内に転用、貸与、譲渡、取り壊し等を行う場合には、国の承認を得る必要がある。</p>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	教育総務課	

基本目標	生涯学習環境の整備・充実
施策	生涯学習環境の充実
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児講座・子ども教室・高齢者学級・成人講座・公開講座・女性セミナー・情報講座・キッチン大学講座などを開講した。</li> </ul> <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ・サークル団体が気軽に活動し、集う場として活用できる施設を優先的に提供した。</li> </ul> <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習情報を冊子にまとめたことにより、情報の集約を図った。</li> </ul> <p>④地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性の家等施設の共有部分（ロビー）等について開放し、作品展示等活動の成果を発表できる場を提供した。</li> </ul> <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化センターのトイレ改修工事・昇降機修繕、みかげの森「プラザしもたど」の空調機修繕、文化会館とふれあいセンターの駐車場区画線修繕、働く女性の家の非常通報装置修繕等、随時、施設の修繕を行った。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存講座の見直しだけでなく、親子で参加できる講座として、はじめてのおてつだい（13名）、食品加工実習講座（21名）、竹炭工作体験教室（24名）、キッチン大学（21名）の講座を開講し、興味のもてる学習内容をテーマにするなどして、受講者が満足できる学習環境の充実ができた。</li> </ul> <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設予約においては、本課が管理する施設での主管する学習講座やサークル活動について、優先的に部屋の利用を確保するシステムにした結果、継続的な活動に支障がなくなった。</li> </ul> <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習情報は「生涯学習の案内」を冊子にまとめ、年度初めの4月に全世帯に配布するとともに、短期講座募集についても、その都度、市報へ掲載し幅広く周知することができた。</li> </ul> <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化による改善工事や不具合箇所の修繕など、より安心して快適に施設利用をして頂けるよう配慮した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人講座では受講者の減少が見られる講座もあるので、市民の要望も踏まえながら、時代に即した講座との入れ替えを図っていく必要がある。</li> </ul> <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本課が管理する施設は市内各所に有り、市民が十分に活動できる場を提供</li> </ul>

	<p>している。しかし、職員配置に於いて、申込時期制限や無人施設、夜間は利用時のみ開館しているなど、利用希望者に不便をかけるため、管理形態を含めた対応を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設や設備の老朽化が進んでいるため、優先順位を検討し、計画的に修繕や改修、更新を行う必要がある。</li> </ul> <p>④地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の住民が気軽に参加できる講座開設及び展示の場の提供などが必要である。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実
施策	多様な学習機会の提供
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習を通じて心豊かに多様な学習活動ができるよう、様々な学習機会の提供を図るとともに、指導者の発掘・育成に努めた。</li> <li>・ボランティア講師の登録制度の充実と活用を図った。</li> </ul> <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ・サークル団体が主催する催しを各社会教育施設に掲示し周知した。</li> <li>・学習情報の内容をわかりやすくまとめ、公開方法の工夫を図った。</li> </ul> <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の向上を図るために受講生に講座のあり方について周知を図った。</li> </ul> <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能舞台を利用して「海津の能」・「かいづの狂言」の上演を実施した。</li> <li>・「低地のくらし」をテーマに堀田を利用した体験学習などを実施した。</li> <li>・雑誌情報を始め、ブックスタート・読み聞かせ会など読書支援を図った。また、子ども読書活動推進計画、読書通帳の推進を図り学習意欲の充実に努めた。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア講師の再登録（21名）の有無と具体的な指導内容を更新し、実践的なボランティア学習講座の開講をすることができた。また、新規に2名の方が登録された。</li> </ul> <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習情報は、様々な関係機関により趣味・教養・文化・健康・まちづくり講座などを開設しているため、その情報の共有を図るため「生涯学習の冊子」にまとめることにより、一元的な学習情報の提供ができた。</li> </ul> <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけなどをして、生涯学習への意識啓発を行うことができた。</li> </ul> <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館では、蔵書を充実のため4,551冊を購入し利用促進を図った。新たな読書通帳の発行は169人あった。資料館では、展示施設「堀田」を利用した体験学習など市内の小学生を対象に郷土の歴史に親しむ学習ができた。また、「海津の能」「かいづの狂言」を開催し、約480人の来館者があった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>① 生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全世帯配布の生涯学習の冊子に掲載し、サークル活動の支援に当たっている。サークルは中高年対象のものが多く、学齢期の児童生徒や若者の</li> </ul>

	<p>サークルを充実させるために、子どもの講座をサークルに移行すること等、工夫をする必要がある。また、指導者については、子ども教室などの学習活動に接する機会を提供しながら育成する必要がある。</p> <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の情報に止まらず、大学や関係機関などの生涯学習情報を共有し市民に周知することにより、学びの機会を提供する必要がある。</li> </ul> <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育課の会議の折に、講座の紹介や生涯学習への啓発をするなど、意識を高めることができる場を増やしていく必要がある。</li> </ul> <p>④図書館や資料館等の学習機関の機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館では、子ども読書活動推進計画に基づき利用者サービスの向上、また、海津図書館・平田図書館・南濃図書館の機能再編や、資料館では、専門性の高い学習施設として機能充実を図るため、今後のあり方を検討する必要がある。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、図書館、歴史民俗資料館	

基本目標	生涯学習環境の整備・充実	
施策	新たな学習活動への支援	
基本施策	①高齢者の持つ技能の伝承 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の登用を行い、人材を活用した学習講座を開講、また、子どもを中心とした「ふるさと楽校」里山体験講座も実施した。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・冊子の配布方法や情報提供の方法の改善を図った。	
〔事業内容実績対象者等〕		
成果課題等	<b>【成果】</b> ①高齢者の持つ技能の伝承 ・地域の高齢者が講師となり、夏に「竹炭を使った工作教室」を開催し、21名の参加があった。昔ながらの技術を学びながら製作できた。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・積極的に講座の開設を行い、地域住民に還元できる環境づくりと人材の確保ができた。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・「生涯学習の案内」の冊子を全世帯に配布するだけでなく、市報やホームページでも講座の内容を紹介することにより、学習情報の改善に努めることができた。 <b>【課題】</b> ①高齢者の持つ技能の伝承 ・学校教育では、祖父母参観や総合学習時に高齢者の技能を生かした取組が実施されているが、小中学生を対象に昔から伝わる伝統技能の伝承と実技指導ができる講座の立案など、高齢者の持つ技術によるふるさと学習を継続して取組む必要がある。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師という人材を活用できる、更なる学習活動の企画・計画が必要である。 ・講座を企画する中で幅広い選択肢のため講師登録を充実させる。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・より見やすい冊子やホームページづくりをしていく必要がある。 ・クラブサークルの活動内容を施設での展示やチラシで周知するなど、更なる取り組みが必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
施策	地域で進める青少年の健全育成
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会で策定した指針により、市民ぐるみの健全育成を図った。</li> </ul> <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大会・青少年推進員活動・子ども会活動・スクールボランティア等による見守り活動・市民運動など、健全育成活動の情報共有を図った。</li> <li>・情報モラルアンケートが市PTA連合会により実施され、その結果をもとに、スクールサミットを開催し、「あったかい絆宣言」の取り組みを行った。</li> </ul> <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会大会・ジュニアリーダー研修会等を実施した。</li> <li>・家庭教育講演会を開講した。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動の推進にあたり青少年育成団体が集まる会議に指針を提示し、青少年活動の推進を足並みそろえて行おうとすることができた。</li> </ul> <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年推進員会の活動において、日新中学校（113名）と城南中学校（123名）の生徒を対象に「情報モラルワークショップ」を開催したり、校区内の通学路点検を行ったりするなど、安全安心な地域づくりのために充実した活動を行うことができた。</li> <li>・子ども会活動では、「単位子ども会活動」が盛り上がるように、活動の支援の計画や行事の精選など円滑に運営することができた。</li> <li>・市民大会では、「あったかい絆宣言」の取り組みの紹介や講演会を開催するなど、青少年健全育成活動を広く紹介することができた。参加者数は587名であり、多くの市民の方に参加していただいた。</li> <li>・市民運動である「あったかい言葉かけ運動」の広報活動をしたことで、前年度に比べて約900名の参加者の増加があった。また、高校生の参加もたくさんあり運動を周知することができた。</li> <li>・情報モラルアンケートにより多くの成果と課題を共有できるだけでなく、課題については、スクールサミットを開催し、市内各小中高の学校代表者により、情報モラル等についての話し合いを行うことができた。</li> </ul> <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育講演会などを開催し、青少年活動についての資質向上を行うことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も青少年に関わる全ての関係機関が参加し健全育成が図れるよう、市域全体の指針を作り、共有できるようにすることが必要である。</li> </ul> <p>②組織的な活動の充実</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年に関わる団体間の横のつながりを図る必要がある。</li> <li>・子どもの人数の減少や負担感もあり、単位子ども会活動が難しくなっている。</li> <li>・継続的に情報モラル向上の為の対策を講じる必要がある。</li> <li>・「あったかい絆宣言」が、学校や家庭において浸透し、理解が得られているように、さらに具体的な対策をする必要がある。</li> </ul> <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな活動や取り組みに対して、目的を明確にして、より効果的な内容になるように計画を再考する必要がある。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
施策	家庭教育力の向上
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこ子育て支援事業による講座・研修・相談事業等の推進を図った。</li> </ul> <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援員の配置による家庭教育に関する相談室を開設し相談体制の充実を図った。就学前検診時に入学前の親育ち講座の講話など様々な状況にある親のための学習機会を提供した。</li> </ul> <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のすべての園・学校で家庭教育学級を開講し、子育てやしつけを気軽に語り合える場や研修会を実施した。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親と子が一緒に参加できる講座を通じて、基本的な生活習慣を整えるだけでなく、思いやりの心を大切にできる、「あ（あったかい言葉）・た（時間）・り（読書）・ま（マナー）・え（笑顔）」を意識した親子関係の構築ができた。</li> </ul> <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援員を相談員とした「にこにこ相談室」を開設し、支援体制の充実を図った。来所相談（117件）・電話・メール相談（132件）・訪問型家庭教育支援（24回）の対応をした。市内小学校10校の就学前検診時に入学前の保護者を対象とした「子育て親育ち講座」を開催した。子育てにかかわる親・祖父母・地域の子育て支援に関わる方を対象とした「子育ておもしろ心理学講座」を5回（68名）開催し、子育ての悩みや不安の軽減を図る講座を実施できた。</li> <li>・「相談体制の充実」では、親子講座の開催時に相談室の周知や各子育てに関する相談窓口をまとめたチラシの作成・配布を行った。</li> </ul> <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立の園も含めて市内全園・学校の参加があり、家庭教育学級を拡充することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援事業（にこにこ子育て支援事業）については、支援策の再確認をすることにより質の向上・周知の方法、事業の必要性を検証する必要がある。</li> </ul> <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発達支援センターくるみ」等と連携協力できる相談体制の充実を図る必要がある。</li> </ul> <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に広く参加できる等、魅力ある研修会の在り方や参加しやすい取り組</li> </ul>

	みを検討する必要がある。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	文化の振興	
施策	文化の継承と発展	
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財保護として保存継承に2件、保存経費に4件補助した。</li> <li>・大垣東高等学校による海津市及びその周辺に生息するハリヨの遺伝子調査個体数調査を実施した。</li> </ul> <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早川家住宅の重要文化財（建造物）指定に向け、文化庁への調査報告の実施及び県との調整を実施した。</li> </ul> <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の教育資源を活用した小学校出前講座を開設した。</li> </ul>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部浄水公園ハリヨ生息地を改修したことにより、ハリヨによりよい生息環境を整備でき、新たな観光資源としても活用できるようになった。</li> <li>・北部浄水公園駐車場及び屋外トイレ整備工事に関する設計書を作成し、次年度の整備工事に向けて、準備を進めることができた。</li> </ul> <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度調査で貴重な和風建築物として再認識できた早川家住宅の文化的価値を高められるように、国や県との調整を進めることができた。</li> </ul> <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資源を活用した出前講座により文化財の価値を伝え、地域振興に努めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>① 指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハリヨ生息地については、北部浄水公園のみならず国の天然記念物である津屋川水系清水池ハリヨ生息地など市内の生息地を含め、将来的に国指定を追加指定するなどし、広域的な保護活動をしていく必要がある。</li> </ul> <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早川家住宅については、将来的な見通しを持ち、今後の管理・整備計画を立てていく必要がある。</li> <li>・埋蔵文化財については、試掘調査及び報告書を作成するだけで終わるのではなく、遺物を公開展示することが必要である。</li> </ul> <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる文化財資源の発掘や価値観を高める必要がある。</li> <li>・蓄積された歴史研究資料を活用しての企画展示等を実施する必要がある。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	



基本目標	文化の振興	
施策	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	<p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとおもてなし隊との連携による郷土の案内を実施した。</li> <li>・郷土の歴史文化への理解を深めるため、歴史探訪（「犬山・木曾川を歩く」、「円空仏をたずねて」）を実施した。</li> <li>・明治150年に関連して歴史講演会「失敗から見えてくる幕末維新の真の姿」を開催した。</li> </ul> <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座において、養老山地と木曾三川が織り成す自然や産業など歴史資源の情報発信を図った。</li> </ul>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡巡りなどを実施し郷土の歴史を紹介できた。</li> <li>・歴史講演会の開催により松平高須藩三万石の顕彰と高須藩四兄弟について学ぶ機会の充実を図り、約160人の受講者があった。</li> <li>・歴史探訪講座により、広く一般市民に郷土の歴史文化を紹介できた。</li> </ul> <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハリヨや古墳など郷土文化の情報発信により、より多くの分野で多種多様な歴史資源の創出やふるさとを見つめ直すことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なるふるさと地域資源の発掘が必要である。</li> </ul> <p>資料館については、郷土に伝わる史実及び新たな歴史資源の掘り起こしなど展示すべく資料の研究を進めながら、入館者の増大を図るための施設リニューアルを検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとおもてなし隊との更なる連携強化を図る必要がある。</li> </ul> <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史を紹介し学べる機会の創出など、更なる活用方法の再考が必要である。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興
施策	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①市民文化活動への支援 ・文化協会への補助を実施した。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・海津市児童合唱団「かいづっち合唱団」と杉並児童合唱団との交歓演奏会を開催した。</p> <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・市民創作劇『「ハリヨと生きる」-水面に煌めく命の唄-』の脚本・音楽を作成した。</p> <p>④多様な芸術活動の支援 ・芸術作品にふれあう機会の場として文化展を開催した。</p>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①市民文化活動への支援 ・補助金等の支援により、市民が自主的に参加できる団体として文化協会及び関連団体が幅広く活動できた。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・「かいづっち合唱団」と杉並児童合唱団との交歓演奏会を開催したところ、約700人が鑑賞し、子どもから大人まで幅広く芸術に親しむことができた。 ・全国的に有名な杉並児童合唱団の合唱を間近で見ること、子どもたちに質の高い芸術文化を感じてもらえることができた。</p> <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・第3弾となる市民創作劇の脚本・音楽を作成し、次年度のワークショップ、さらには本公演へとつなげるための準備ができた。</p> <p>④多様な芸術活動の支援 ・文化展では、一昨年より1人2作品までに出展数を増やした結果、1日あたり約543人の来場者があった。 ・「かいづっち合唱団」が市民文化祭などに出演し、多様な芸術活動の後押しをした。</p> <p>【課題】</p> <p>①市民文化活動への支援 ・文化協会会員が高齢化しており、文化事業の維持が困難になるため、話し合いの場を設けながら、各種支援策を考えていきたい。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・「かいづっち合唱団」と他の児童合唱団との交流会・学習会などの機会を設け、多くの刺激を受ける場や発表する場を増やし、さらに充実させていきたい。 ・小さい頃から文化に触れる機会を増やし、合唱団等の文化的活動に参加しやすい風土を醸成していきたい。</p>

	<p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民創作劇など鑑賞型から市民参加型に進めており、今後も市民参加型を継続できるようにしていきたい。</li> </ul> <p>④多様な芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化展では、来場者及び出展者が参加・来場しやすい企画づくりを進めていきたい。</li> <li>・芸術文化活動の活性化を図るため、市や文化芸術団体、民間事業者など関係相互による連携を進めていきたい。</li> </ul>	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	スポーツ施設の整備と有効活用	
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	①スポーツ施設の計画的な改修 ・グラウンド・ゴルフ場の拡張を検討した。 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・平田テニスコート修繕工事をはじめ、各体育施設の修繕を行った。 ③スポーツ施設の利用促進 ・施設のPR促進と、効率的な利用のため毎月調整会議を行った。 ・体育施設の利活用の協議を行った。	
成果課題等	【成果】 ①スポーツ施設の計画的な改修 ・以前よりグラウンド・ゴルフ協会から要望のあるグラウンド・ゴルフ場の工事設計をした。 ② スポーツ施設の長寿命化推進 ・平田テニスコート修繕工事をはじめ各体育施設の照明、スポーツ用器具をはじめ53か所の修繕を行い、長寿命化を図るとともにスポーツ施設の環境改善を図ることができた。 ③スポーツ施設の利用促進 ・体育施設等利用調整会議を開催し、体育施設等利用者の利便性を図ることができた。 ・体育施設の統廃合を図るため、地元自治会に協議を行った。 【課題】 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・平田体育館の耐震補強、海津グラウンド及び南濃テニスコート等の改修が必要である。 ・体育施設の統廃合を進めるため、地元自治会等と協議を継続していく必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興
施策	スポーツ活動の充実
基本施策  〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたスポーツ少年団を育てるための、団員及び指導者の育成に努めた。</li> </ul> <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体等との連携による市民参加型スポーツ行事を開催した。</li> </ul> <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくスポーツに親しむ機会を提供した。</li> </ul> <p>④総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブの支援と市民のスポーツ活動への参加を促した。</li> </ul>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西濃地区の交流大会・リーダー研修会への団員の参加や、認定員養成講習会・指導者研修会に指導者を派遣し、指導員の育成を行った。</li> </ul> <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城山、石津地区において各地区の役員とともに軽スポーツ大会を開催し、お年寄りから子どもまで約400人の参加、平田地区運動会では、約500人の参加があり、世代を超えた交流ができた。下多度地区は、台風等の影響で中止になった。</li> <li>・海津市スポーツ推進委員連絡協議会による海津市タスポニー交流大会が開催され、約60人の市民の参加があり、楽しんでもらった。</li> <li>・ミナモマラソン大会を市体育協会、スポーツ推進員をはじめ各種団体の協力を得て開催することができ、大勢の市民の参加があり、各競技に興味を持ってもらった。</li> </ul> <p>③ 高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進員が風船バレーボール・ポートボールを体験し、障がい者対象の教室にも生かせるよう研修を受講した。</li> <li>・健康課と協力し、各種団体・サークルに出前講座を実施し、軽スポーツによる健康維持を呼びかけた。</li> </ul> <p>④ 総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの地域スポーツクラブに対し、県事業により事務指導などの面において支援を行いクラブ運営に協力することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化や生活環境の変化などの影響により団員数の減少が見られ、新規の団員の確保が困難な状況にある。</li> </ul> <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催する軽スポーツや運動会などの行事は、幅広い世代の市民を対象としており、高齢者や障がい者を含めたスポーツ活動としては、それらの関係団体との協議が必要である。</li> <li>・グラウンド・ゴルフ場整備の取り組みにより、近隣する月見の森・道の駅と連携し、利用者を取り入れた方策を考える必要がある。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	競技スポーツ活動の支援	
基本施策	①指導者の育成と確保 ・研修の受講支援と指導者としての資質の向上に努めた。	
〔事業内容〕 実績 対象者等	②選手の育成と強化 ・スポーツ競技への参加促進と競技力・出場意欲の向上に努めた。 ・東京オリンピック事前キャンプ地としての誘致活動を実施した。 ・全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会を開催した。	
成果課題等	<b>【成果】</b> ②選手の育成と強化 ・長良川 2020 東京五輪事前キャンプ誘致委員会において、ニュージーランドボート競技の事前キャンプ視察を受け入れた。 ・平成30年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会を開催した。前年度の大会視察及び大会の準備・運営の体験により、大会を成功裏に終えた。	
	<b>【課題】</b> ②選手の育成と強化 ・スポーツ競技への参加人数の増加を図る必要がある。 ・事前キャンプ誘致では、新たな対応が必要となった。 ・競技大会では、いかに経費を抑え実施できるかを検討する必要がある。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	地域間交流の推進	
施策	地域間交流の推進	
基本施策	<p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島生徒交流事業（訪問団：生徒 20 名）は、今年度（受入・訪問）研修を実施した。</li> <li>・酒田市児童交流事業は、酒田市訪問団（20 名）が当市を訪問し、海津市児童とホームステイをしながら交流を行った。</li> <li>・多文化共生の理解を深めるため、言語や文化を学ぶ講座を開催した。</li> </ul>	
<p>事業内容 実績 対象者等</p>		
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島生徒交流事業及び酒田市児童交流について、ホームステイ等により、生徒や児童が地域性の違い等、身を持って感じる事ができた。又互いの郷土を誇りに想い、友好親善が深まった。</li> <li>・小学3～6年生を対象とした「イングリッシュ・デイ（76人参加）」や成人対象の「異国食科（54人参加）」講座を開催し、英語を通じて外国人とコミュニケーションをとりながら外国の文化や価値観を学び交流することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両交流ともホームステイ型の受入のため年々参加者の確保が困難である、そのため交流プログラムの刷新や、市民への情報発信、日程等、今後の進め方に検討が必要である。</li> </ul>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	



## 4 外部評価（学識経験者による意見）

岐阜大学名誉教授

岩田 恵司

### 海津市教育委員会点検評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の定めにより教育委員会から提出を受けた資料及び令和元年10月7日の教育委員の皆様との懇談をもとに意見を述べさせていただきます。

同法律第26条に定める教育委員会の点検評価報告書作成に関して、教育委員会では同法第21条に定める、その職務権限にかかわる事業及び活動を事務事業評価表にまとめられました。ここでは、平成26年度から実施の海津市教育振興基本計画の最終年度に当たり、昨年度事業計画の立案・事業結果・事業評価及び・本年度に向けての課題整理が適切に整理区分されております。

基本施策に挙げられている積み上げ型事業

- ① 認定こども園、幼稚園、保育園の適正規模化の推進
- ② 海津市教育スタンダードの構築
- ③ 中学校の適正配置
- ④ 学校施設の大規模改修、バリアフリー化、エアコンの整備

については、令和元年度達成に向けての平成30年度事業計画の立案・実施が報告されています。また、達成型事業については、単年度事業計画に基づき適切に実施され成果が得られていることが点検評価報告書に記されており、今後の検討課題などについて教育委員の皆様と意見交流ができました。

教育委員会制度の下、教育委員会の活動を、事業計画・事業報告・点検評価の形で報告することが広く市民の皆様を理解を得るうえで、極めて大切であると実感しております。このことに関する教育委員会の真摯な取り組みは、今後、人口減少、少子高齢化が進むと予想される中、子どものよりよい教育環境を市民の皆様と共に作っていく中で生かされていくものと考えます。

義務教育は、受ける権利があると共に、受ける義務・受けさせる義務が課せられています。その目的は今直ちに役に立つことではなく明日を担う日本国民として共通に身に付けておくべき内容に厳選されているはずです。

例えば、私は算数、数学は日常生活の中で問題解決に役に立つから小中学校で学習する必要があるとは考えておりません。数学は人類が創り出した文化であります。公理や定義から命題を導き、それを基に新たな定義や命題を導く繰り返しの中で創られていく文化です。一つの定義の中には書ききれないほどの具体が含まれています。定義は文章で表現されます。日本語、英語、中国語などの言葉を用いても共通な理解が得られる必要かつ十分な言葉でなされます。それを基に日本語で考えたり英語であったりいろいろありますが導かれる結果は人類共通の財産になります。それを学ぶ中で正確な言葉表現の仕方を学習することが目的といえます。一つの定義の中にはいくつもの具体があります。小学校では定義を学ぶ学習が多くを占めます。中学校では定義から命題や新しい定義を導く学習が入ってきます。小中学校で学ぶ数学は子どもが現在生活するうえで役立つとは言えません。しかしものを考えるということは、日本語を母国語としている私たちは日本語で考えているのであって、そのためには言葉を精査し論理的に文章表現して初めて考えることになるのです。算数、数学を学習することはそれを身に着けることが目的といえます。このように義務教育の内容は実利的側面を強調して論じてはならないのであります。

これらの点について、十分理解されたうえで、海津市の教育の中で示されている方向性やそれぞれの目標の達成に向け、更なる施策の検討を行い、推進を図られるよう期待しております。

---

平成30年度 教育委員会の事務に関する点検評価報告書

発行日 令和元年11月発行

発行元 海津市教育委員会

〒503-0695

岐阜県海津市海津町高須 515 番地

TEL 0584-53-1467 Fax 0584-53-1608

E-mail : kyoikusomu@city.kaizu.lg.jp